

第2次健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画変更箇所

ページ	変更後	変更前
12	神奈川県や全国と同様に、二宮町の自殺者は「男性」が多く、「女性」が少ないことがわかります。	神奈川県や全国と比較すると、二宮町の自殺者は「男性」が多く、「女性」が少ないことがわかります。
33	胃がん検診受診率の割合 <u>50 歳以上男女</u> ※H26 年度の胃がん受診率は、40 歳以上男女 を追加	胃がん検診受診率の割合 <u>40 歳以上男女</u>
36 37	豊かな自然で育む健康な <u>こころ</u> とからだ ～ 向き合おう <u>こころ</u> とからだの健康管理 ～	豊かな自然で育む健康な <u>心</u> とからだ ～ 向き合おう <u>こころ</u> とからだの健康管理 ～
37	基本目標の 1.2.3.4.5.6 に「健康増進計画」を追加	
52	※食への感謝の気持ちや食品ロスの削減・環境に配慮した食への理解を深め、食を選択する力を修得し健全な食生活を実践することです。を追加	
53	取り組み・事業 学校給食における地場産物及び <u>環境に配慮した食材等の活用</u> 内容・方向性 児童・生徒が地域産業や文化への関心・理解を深めることができるよう、二宮産の食材や神奈川県産の食材を積極的に使用し、併せてアレルギーに配慮した <u>無添加食品や環境に配慮した食材</u> の使用を推進していきます。【新規】 【数値目標】 学校給食で使用する地場産食材（神奈川県産、二宮産）や <u>環境に配慮した食材</u> の品目数の増加	取り組み・事業 学校給食における地場産物及び <u>無農薬野菜等の活用</u> 内容・方向性 児童・生徒が地域産業や文化への関心・理解を深めることができるよう、二宮産の食材や神奈川県産の食材を積極的に使用し、併せて <u>無添加食品や無農薬野菜等の使用</u> を推進していきます。【新規】 【数値目標】 学校給食で使用する地場産食材（神奈川県産、二宮産）の品目数の増加
56	取り組み・事業 こどもの人権に関する教育 内容・方向性 学校及び関係機関と連携しながら、町内の小・中学生を対象とした人権教育を推進します。また、教職員の指導力向上のため、人権教育に関する研修及び研究も行います。【継続】	取り組み・事業 こどもの人権に関する教育 内容・方向性 町内小・中学生を対象とした人権教育等、学校及び関係機関と連携を図りながら活動するとともに、教職員のさらなる向上のため、当該テーマに関する研修及び研究を行います。【継続】

59	取り組み・事業	
63	困難な問題を抱える女性の相談窓口 内容・方向性 女性が日常生活または、社会生活を営むにあたり女性であることにより、さまざまな問題に直面することが多いことから、女性が安心して、かつ、自立して暮らせるよう町の相談窓口を分かりやすくするほか、県や関係機関とのさらなる連携により支援強化を図ります。を追加 63 ページに(再掲)が入る。 担当課 福祉保険課	